5. 検出エリア

検出エリアはセンサー前面方向に円錐状に拡がっています。

検出エリアの大きさは、炎の大きさ（強さ）と燃えている時間とに比例します。炎が大きく時間が長くなるほどエリアは大きくなり、逆に炎が小さく時間が短くなるほどエリアは小さくなります。

・検出エリア図
条件
炎源：ライター炎（約3cm）
での検出範囲

6. 動作確認

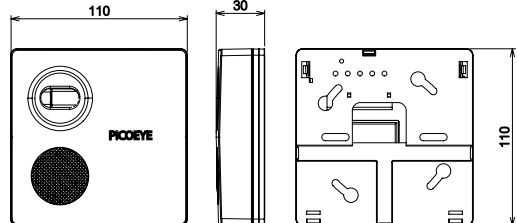
⚠ 警 告	火気厳禁の場所では危険ですのでライター等は絶対に使用しないでください。 動作確認は試験器を使用するか前もって別の場所に仮設置し行ってください。

・蓄積設定秒数以上の間、検出エリア内でガスライタ等を点火します。
・警報音が鳴り、表示灯が赤点滅し始めます。
・ライターを消すと設定秒数後に警報音は止まります。表示灯は赤点灯に変わり50分後に消灯します。

異常現象	点検	処置
全く動作しない	電源が入っていない（断線、誤配線を含む） 電源電圧が低すぎる	電源線をチェックし正しく配線する 電源電圧を適正にする
	検出エリア前面に遮光物体がある（ガラス、透明樹脂も遮光物体になります）	遮光物体を取り除く
	センサー内部が結露等にて濡れている	センサーを乾燥させ、結露等の原因を取り除く
時々動作しない	検出エリアの設定が不適切	適切な位置にセンサーを移設する
	検出窓がホコリ等にておおわれている	ホコリ、汚れを取り去る
	電源電圧が低すぎる	電源電圧を適正にする
炎がないのに動作する	電気的雑音の発生源が近くにある	設置場所を変更する
	思わぬ紫外線源が近くにある	原因となるものを除去するまたは遮光する。設置場所を変更する
	センサー内部が結露等にて濡れている	センサーを乾燥させ、結露等の原因を取り除く
表示灯、ブザーは動作するが接続機器が動作しない	警報信号の接続不良（誤配線）または断線している	接続不良、断線をなおす
	接続されている機器の異常	接続機器を調べる

7. お手入れのしかた

警 告 お手入れは高所作業となり、転倒や落下などの危険があります。足場の確保など安全に作業できるようご留意ください。

・年に1回は炎検出部のホコリを乾いた布で取り除いてください。
・表面の汚れは、布を中性洗剤に浸し、よく絞ってから拭き取ってください。その際、炎検出部に触れないよう注意してください。

※ベンジン、シンナーは表面を傷めますので絶対に使わないでください。

日常点検について

・お手入れの際は、中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭いてください。
・週1回程度は定期的に動作確認をしてください。また、監視する場所の模様がえを行った時にも再度検出エリアの確認を行ってください。

8. 仕様/外形寸法

項目	仕様
品名	放火監視センサー　ピコアイ
品番	UVS-02CTB
鑑定番号	鑑放第17～6号
電源電圧	DC12V～24V (±10%)
検出方式	紫外線検出方式（UV管方式）
検出距離	5m（正面でライター炎約3cm）
検出指向性	センサー水平面より上下60度／センサー垂直面より左右50度
蓄積時間切替	0.5秒、1秒、3秒、10秒の4段階
消費電流	待機時　5mA以下 (電源電圧 DC24V) 警報時　35mA以下 (電源電圧 DC24V、ブザー鳴動時)
警報出力／復旧入力	放火監視受信装置専用入出力（出力保持）
接点出力	無電圧出力（a接点/b接点切替　非保持）　30V　50mA以下
表示灯	待機時：緑点灯（電源灯）、動作時：0.2秒間隔で赤点滅） 警報出力後：50分間赤点灯
設置場所	屋内（天井面、壁面）
使用周囲温度	0℃～+40℃（但し、氷結、結露なきこと）
重量	約150g
外観	ABS樹脂
付属品	取扱説明書　A3版1枚

取扱説明書　放火監視センサー（ブザー警報・配線式）

FIRE SECURITY SENSOR

PiCOEYE

UVS－02CTB

このたびは本商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前に、本説明書をお読みいただき、正しいご使用をお願い申し上げます。

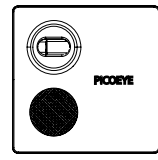
商品説明

ピコアイＵＶＳ－０２ＣＴＢは、炎に含まれる紫外線をすばやく検出し、警報音を発すると同時に接点出力する集中管理型放火監視センサーです。放火、いたずらなど故意に火をつけた場合、また禁煙場所や火気厳禁場所など、炎が発生してはならない場所において、あやまって火をつけてしまった場合などに警報音で威嚇することができます。配線式ですので、複数台の遠隔監視は勿論、他の機器と連動可能です。取付ベースが分離できますので、メンテナンスも容易です。

センサーをご使用になる前に

センサーを正しくお使いいただくためや、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書には絵表示をしています。それぞれの表示と意味は以下のようになっていますので、内容をよく理解してから本文をお読みください。

■ 誤った設置や取り扱いによる危害や損害の程度を以下の表示で示しています。

表示	意味
⚠ 警 告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が想定されることを表しています。
⚠ 注 意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が障害を負う可能性が想定される場合および物的損害が想定される場合を表しています。
⃠	「一般的な禁止」事項を示しています。
⃠	「分解禁止」を示しています。
❗	「必ずおこなう」事項を示しています。

商品のご確認

放火監視センサー（1個）　取扱説明書（本書）

アフターサービスについて

品質に関しては、当社の品質保証規定に基づき保証させていただきます。
万一不具合な点がございましたら、お買上の販売店にお申し出ください。

修理依頼をされるときに連絡していただきたい内容

●ご住所・お名前・電話番号
●製品名・品番・お買上日
●故意または異常の内容

【アフターサービス等について、おわかりにならないとき】
お買上げの販売店または製造元（下記参照）にお問い合わせください。

株式会社オージーシステム
〒105-0013東京都港区浜松町1-10-12 6F
TEL.(03)3438-4112(代)・FAX.(03)3438-4118
http://www.ogsystem.co.jp

仕様など予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

ご使用上の注意

⚠ 警 告

・センサーは絶対に分解しないでください。
・センサーを落下させたり衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。
・センサーの炎検出部を指や濡れた布で触れないよう注意してください。故障の原因となります。

⚠ 注 意

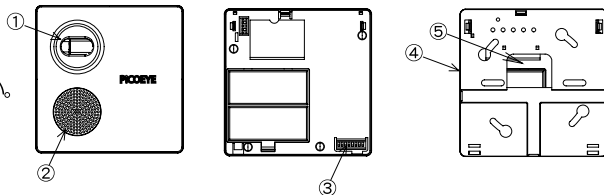
・本機は炎に含まれる紫外線を検出して警報音を鳴動するものであり、火災の防止装置ではありません。また、煙や熱は検出しません。
・万一発生した火災事故・人身事故・災害事故及び機器のご使用方法の誤り、保守点検の不備、天災地変（誘導雷サージ含む）などによる事故損害につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。
・本機は消防法で定められた自動火災報知設備には該当しないため、それらの設備への使用や接続はできません。

検出対象

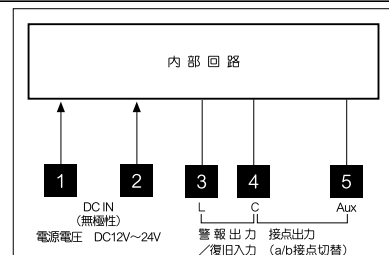
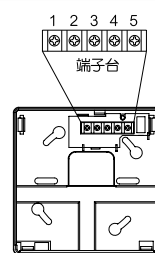
本機は炎に含まれる紫外線を高感度に検出します。従って炎以外にも直射や反射にて検出するものがあり、逆に燃焼しているものでも炎が出ていないものは検出しません。以下の点に注意のうえ、設置、ご使用をお願い致します。

炎以外で検出するもの（誤作動要因）	検出しないもの
●ハロゲンランプ（紫外線が出ないものもあります） ●電気スパーク（パンタグラフ、モーター等） ●高演色性ランプ（キノセン、メタルハライド） ●水銀灯等の放電灯　●殺菌灯等 ●宇宙線（α、β、γ線）　●雷による放電 ●電撃殺虫器　●高電界がかかった場合 ●溶接時の火花　●静電気及び放射線 ●その他　紫外線を発するすべてのもの	●ガラスや透明樹脂越しの炎（紫外線） ●タバコの先の燃焼部 ●炭、レンタン等の燃焼 ●電気ストーブ、赤外線コタツ ●炎がでずに火がくすぶっている状態

1. 各部のなまえとはたらき

①炎検出部
・ここで炎を検出します。
②ブザー
・ここから警報音が出ます。
③設定スイッチ
・『4. 動作及び機能の設定方法』を参照してください。
④取付ベース
・天井面、壁面に固定するのに使用します。
⑤入線口
・端子台に接続した線を配線するのに使用します。

2. 取り付ける前に

右図のように、取付ベースに配線してください。センサーを取り付け電源を投入すると、炎検出部が緑に点灯します。警報出力/復旧入力は放火監視受信装置との接続に使用します。

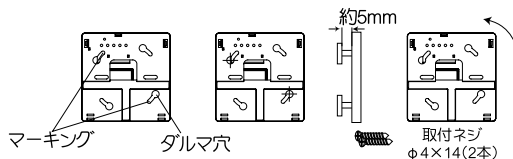
> ⚠ 通電状態において受信装置から復旧操作を行った時に、センサーの表示が一旦消灯する場合は、接続が誤っている可能性があります。再度確認してください。

3. センサーの取り付け

⚠ 警告	取り付けは高所作業となり、転倒や落下などの危険があります。足場の確保など安全に作業できるようご留意ください。
❗	センサーは必ず正しい場所に取り付けてください。 誤った位置に取り付けると火災による炎を正常に検出できなかったり、誤作動の原因となります。

取り付け方法

(1)取付ベースの取り付け

・取付穴
本機は通常の取付穴の他に、取付施工にすぐれ、取付後の方向の調整が可能なダルマ穴(ピッチ83.5mm)を備えています

・ダルマ穴について
①取付位置を決め、取付面にベースを当て、180°対向した2点をマーキングしてください。
②付属の取付ネジ2本を取付面より約5mm程度浮かした状態までねじ込んでください。
③ベースのダルマ穴にネジ頭を通し、回転させ、向けたい方向に調整してください。
④取付ネジをしっかりと締結してください。

・造営材別の取扱方法について

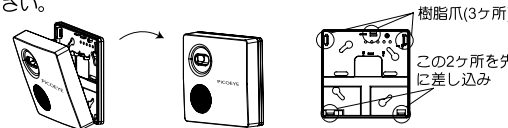
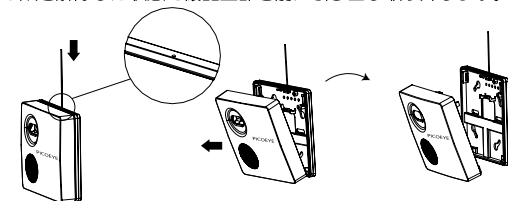
木製で強度のある造営材の場合
使用金具…取付ネジ 4×14 2本
使用工具………………プラスドライバー(大)
取付ネジを直接造営材にねじ込んでください。
以下 前記参照

金属製で強度のある造営材の場合
使用金具…取付ネジ 4×14 2本
使用工具………………プラスドライバー(大)
ハンドドリル φ3.5

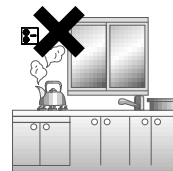
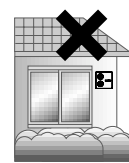
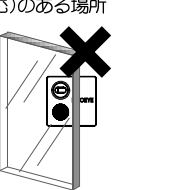
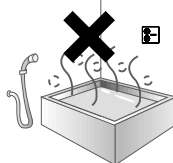
ドリルでφ3.5の下穴を造営材に空けてください。
下穴に取付ネジをねじ込んでください。
以下 前記参照

センサーは必ず正しい場所に取り付けてください。誤った位置に取り付けると火災による炎を正常に検出できなかったり、誤作動の原因となります。

(2)取付ベースへの取り付け/取り外し

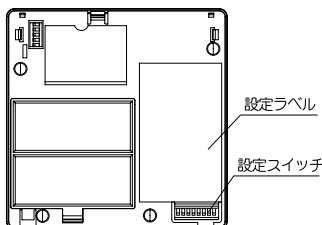
・取り付け
製品下部の2ヶ所を最初に差し込んでから樹脂爪で取り付けてください。

・取り外し
設置後は、取付ベース上部の小さい孔からピンを垂直に差し、真ん中の爪を解除した状態で機器上部を前に引き出し取り外します。

> ⚠ 警告　次のような場所には取り付けないでください。火災による炎を正常に検出できず、誤作動や故障の原因となります。

・『5. 検出エリア』を参考に設置個所を設定し、実際に動作確認を行い、死角が生じないよう適切な位置に設置してください。
・以下の場所には設置しないでください。

⊘・日光(直射、反射)や、雨のあたる場所(本機は屋内設置専用です。)
⊘・常に火(炎)を使う場所(台所、炊事場等)。

⊘・湿気の多い場所(風呂場等)
⊘・前面に遮光物(ガラス、透明樹脂等を含む)のある場所

・0℃以下の低温、もしくは+40℃以上の高温になる場所
・前記の誤作動要因がある場所

4. 動作及び機能の設定方法

・警報動作(基本動作)
炎(紫外線)の検出が、設定した蓄積時間以上連続した時に、表示灯や警報音により警報を発します。

警報音・・・ブザー鳴動を10秒あるいは20秒継続(継続時間はスイッチの設定によるが、炎検出中は鳴動を維持する)
表示灯・・・警報音鳴動中は0.2秒間隔で赤点滅し、以後赤点灯を継続
接点出力・・・炎検出中及び以後2秒または5秒間出力(出力保持時間及び出力形式はスイッチの設定による)

・警報の復旧
放火監視受信装置での復旧操作により、表示灯及び警報出力は復旧します。放火監視受信装置から復旧操作なしに50分間経過した場合も同様です。

・蓄積時間の設定
本体裏面のスイッチで簡単に設定できます。
使用目的に応じて以下のように設定して下さい。
0.5秒ー炎を瞬時に検出
1秒ー炎を約1秒で検出
3秒ー炎を約3秒で検出
10秒ー炎を約10秒で検出

・スイッチによる機能設定
本体裏面のスイッチで機能を変更することができます。

SW	機能	設定
SW1 SW2	蓄積時間	(SW1) / (SW2) ON / ON :10秒 OFF / ON :3秒 ON / OFF :1秒 OFF / OFF :0.5秒
SW3	警報音鳴動時間(SW3)	ON :20秒 OFF :10秒
SW4	警報音量 (SW4)	ON :音量小 OFF :音量大
SW5	警報音鳴動 (SW5)	ON :鳴動無し OFF :鳴動有り

工場出荷時はすべてOFF

SW	機能	設定
SW6	警報出力遅延	ON :5秒 OFF :無し
SW7	接点出力形式	ON :b接点(警報時開) OFF :a接点(警報時閉)
SW8	接点出力保持	ON :5秒 OFF :2秒